

令和6年度(2024年度)用

小学校社会科用

「新編 新しい社会」 知識の構造図 【6年】

令和5年(2023年)7月版

東京書籍

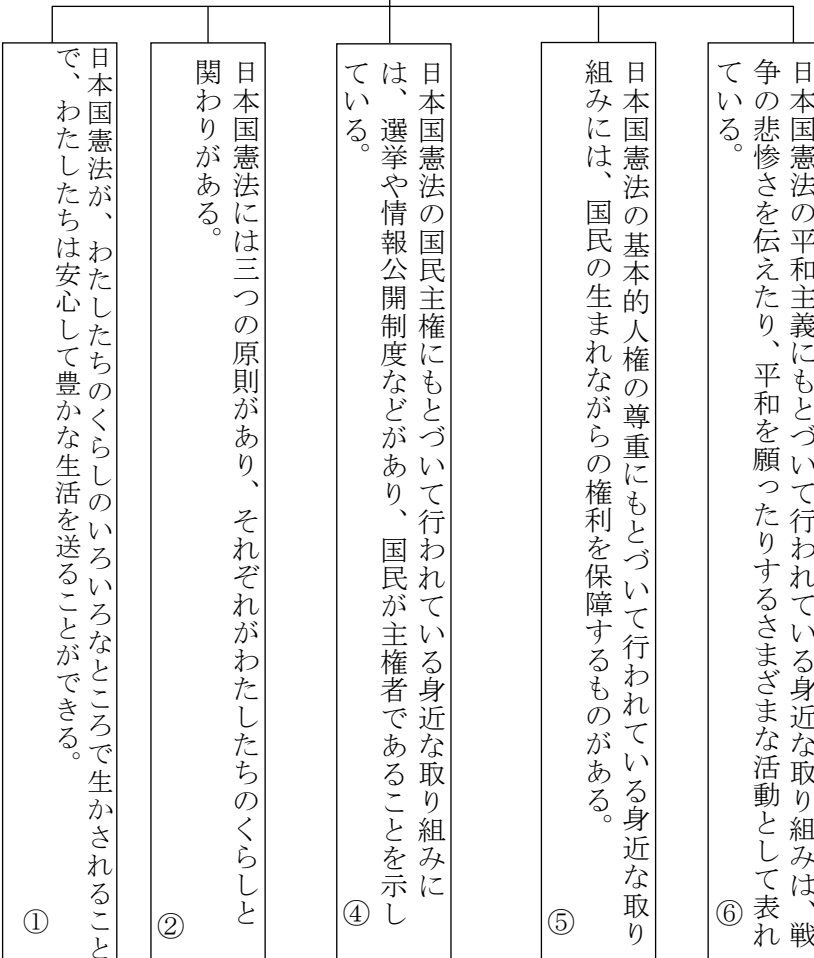
□ 知識の構造図 わたしたちのくらしと日本国憲法

中心概念
(概念的知識)

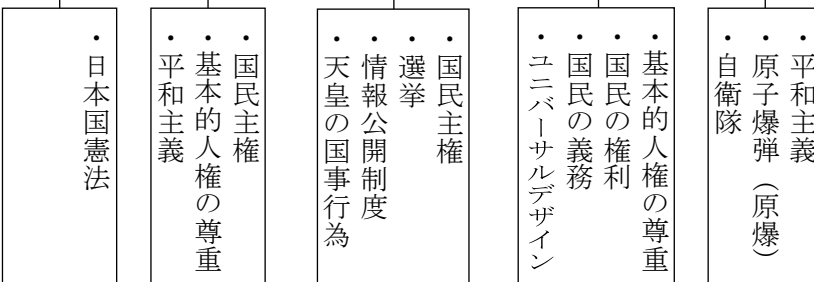
日本国憲法は、国家や国民生活の基本を定めており、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方にもとづいている。
⑦

まとめる

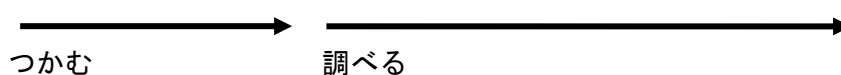
社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程



□ 知識の構造図 国の政治のしくみと選挙

中心概念
(概念的知識)

国の政治は、国民主権の考え方の下、国民の生活の安定と向上をはかる大切な役割をしており、国会・内閣・裁判所が三権分立のしくみの下で国の重要な役割を分担している。④-2

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

わたしたちの意見を政治に反映させてくれる代表者を決めるのが選挙であり、さまざまな公共サービスにかかる費用をまかなう税金の使い方などは、選挙で選ばれた代表者によって決められる。
①

国民の生活の安定と向上を図るために、法律や予算などを審議したり決定したりすることが、国会の働きである。
②

国会で決定された法律や予算にもとづいて、国民のために仕事を行うことが、内閣の働きである。
③

法律にもとづいて問題を解決し、国民の権利を守る仕事を行うことが、裁判所の働きである。
④-1

社会の課題を解決するためには、日本国憲法と政治の働きを考え、国民一人一人の政治への関わりが必要である。
①

用語・語句

・ 選挙
・ 税金
・ 予算

・ 国会
・ 立法
・ 衆議院と参議院

・ 内閣
・ 行政
・ 国民の祝日

・ 裁判所
・ 司法
・ 裁判員制度

・ 社会の課題
・ 解決の方法
・ 政治の役割

問題解決的な
学習の過程



つかむ

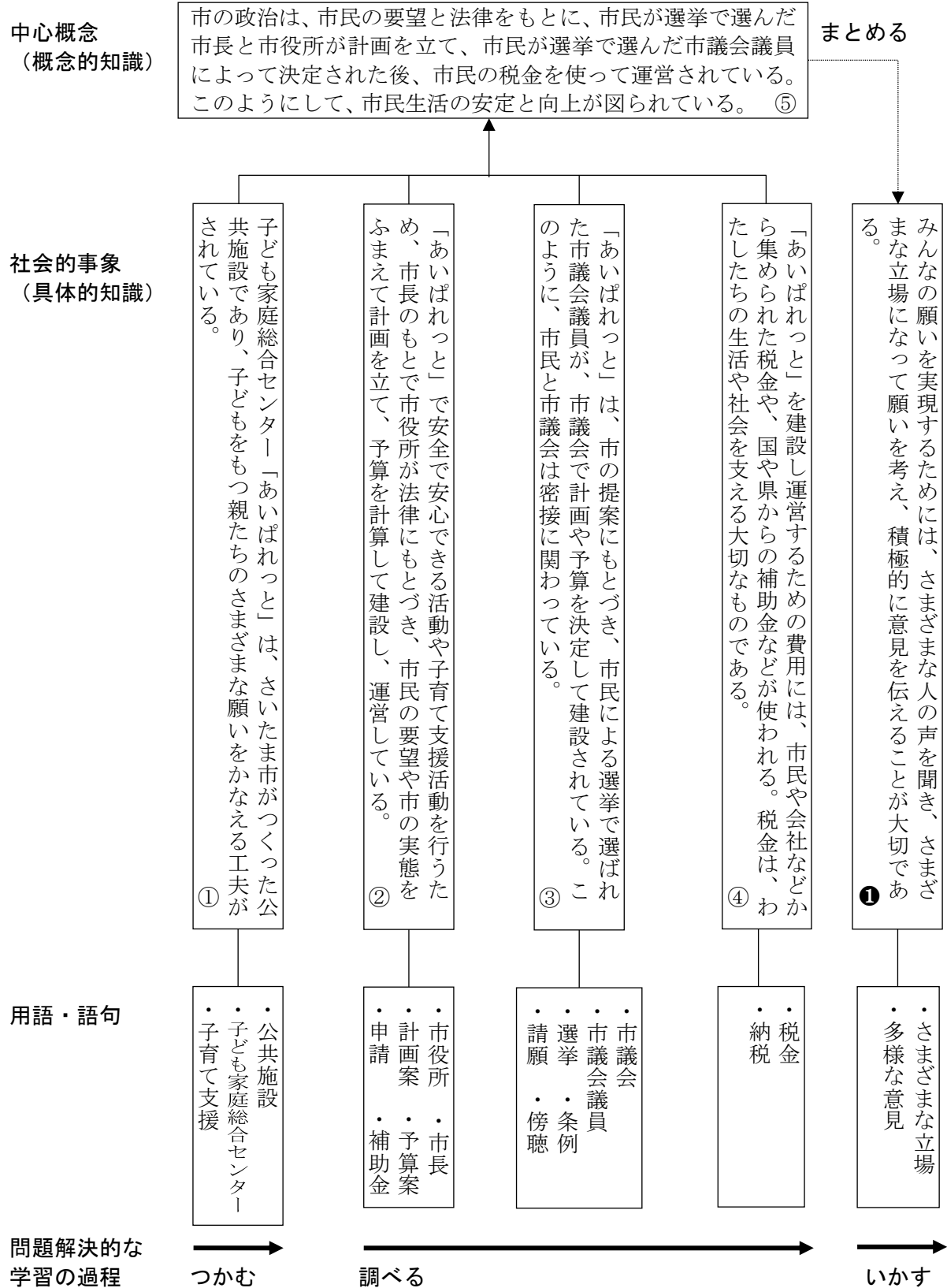


調べる

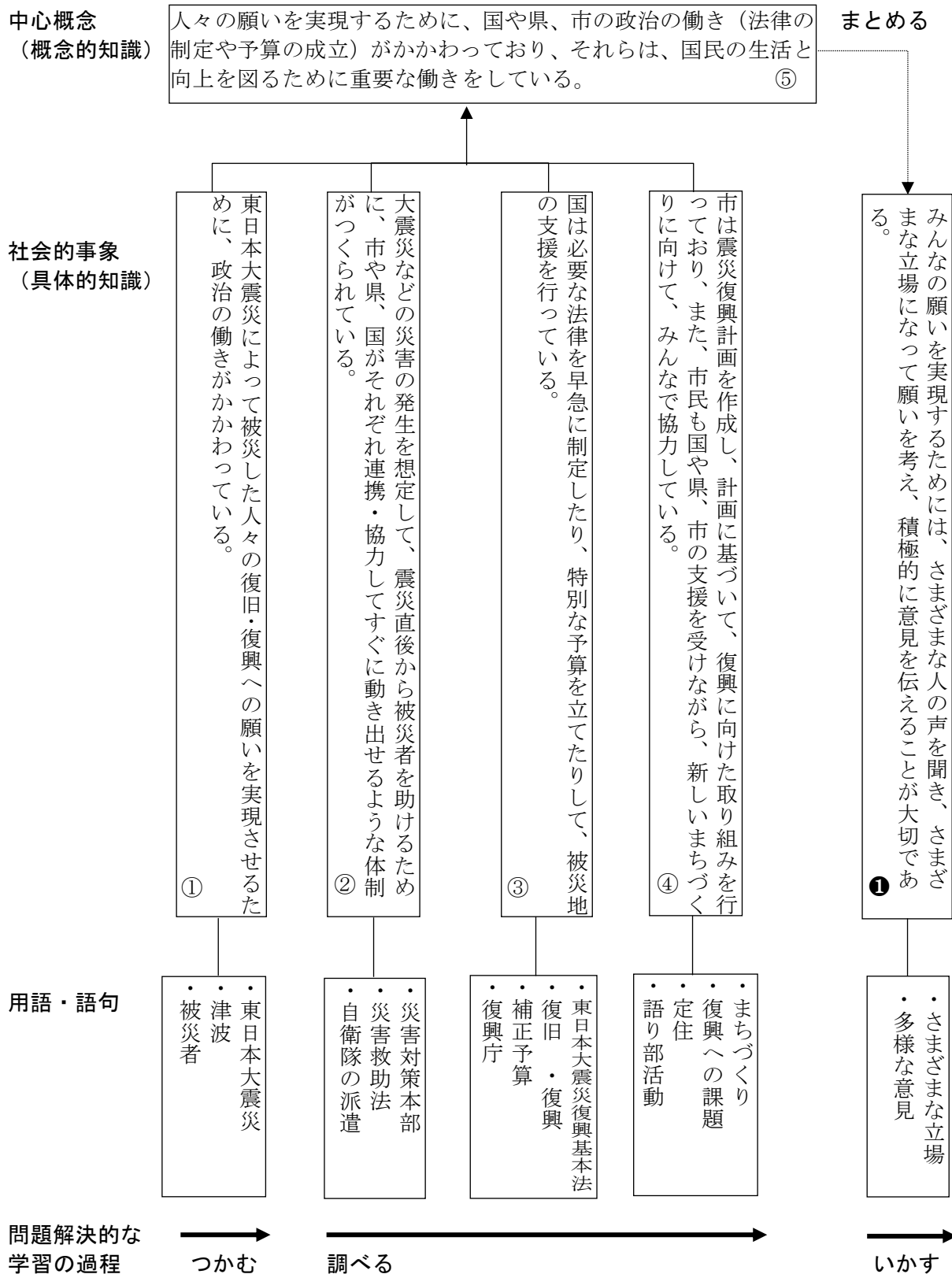


いかす

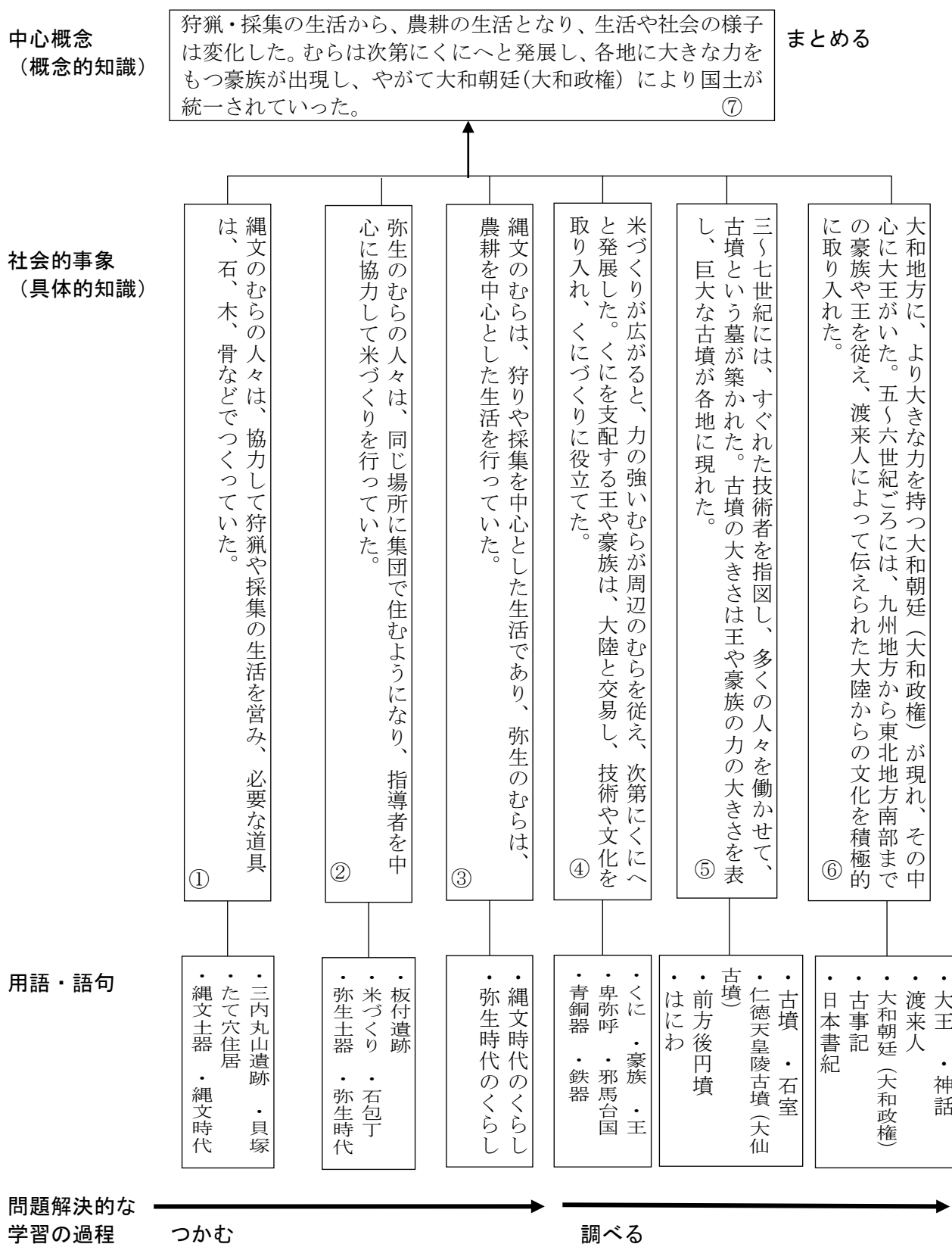
□ 知識の構造図 子育て支援の願いを実現する政治



□ 知識の構造図 震災復興の願いを実現する政治



□ 知識の構造図 縄文のむらから古墳のくにへ



□ 知識の構造図 天皇中心の国づくり

中心概念
(概念的知識)

聖徳太子の国づくりは、中大兄皇子や中臣鎌足によって受け継がれ、聖武天皇のころには、仏教を取り入れた天皇を中心とした政治の仕組みが確立された。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

聖徳太子は、天皇中心の国づくりを進めるため、遣隋使を隋に派遣して大陸文化を取り入れたり、冠位十二階や十七条の憲法を定め、政治の仕組みを整えたりした。また、法隆寺を建てて仏教を広めようとした。①

中大兄皇子と中臣鎌足は、勢力を強めた蘇我氏を倒し、天皇を中心とする国づくりを進めた。国を治めるための法律もでき、都には日本各地から多くの産物が運ばれ、天皇を中心とする国づくりを支えた。②

都では病気が流行し、都を支える地方でも人々のくらしは厳しく、なかなか政治が安定しなかった。聖武天皇は、仏教の力で社会の不安をすずめ、国を治めようとして、国分寺をつくらせた。③

大仏をつくり、仏教の力で国を安定させようと、全国から人や物資が集められた。聖武天皇の詔の後、行基が弟子とともに大仏づくりに協力し、すぐれた技術をもつ渡来人の指導と多くの人たちの力で大仏が完成した。④

聖武天皇は、中国へ使者や留学生を送って大陸の政治の仕組みや文化を学ばせる一方、日本に正式な仏教を広めるために鑑真を招いた。このころ我が国には、大陸の文化が伝わってきた。⑤

用語・語句

・遣隋使
・隋
・天皇
・冠位十二階
・十七条の憲法

・大化の改新
・貴族
・藤原京
・律令
・租・調・庸
・木簡

・平城京
・仏教
・国分寺

・大仏づくり
・聖武天皇の詔
・東大寺
・渡来人
・行基
・開眼式

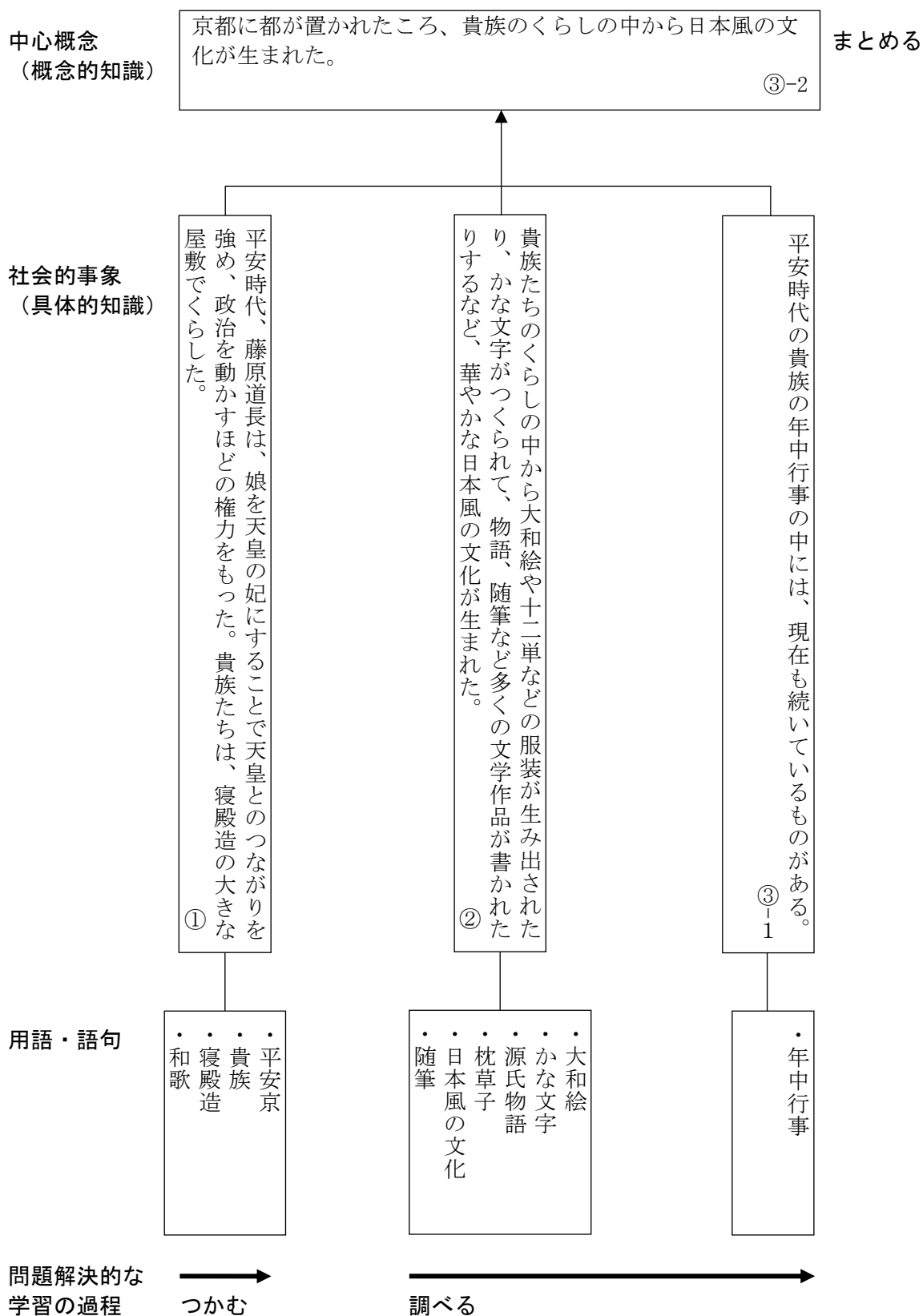
・大陸の文化
・遣唐使
・正倉院
・鑑真
・唐招提寺

問題解決的な
学習の過程

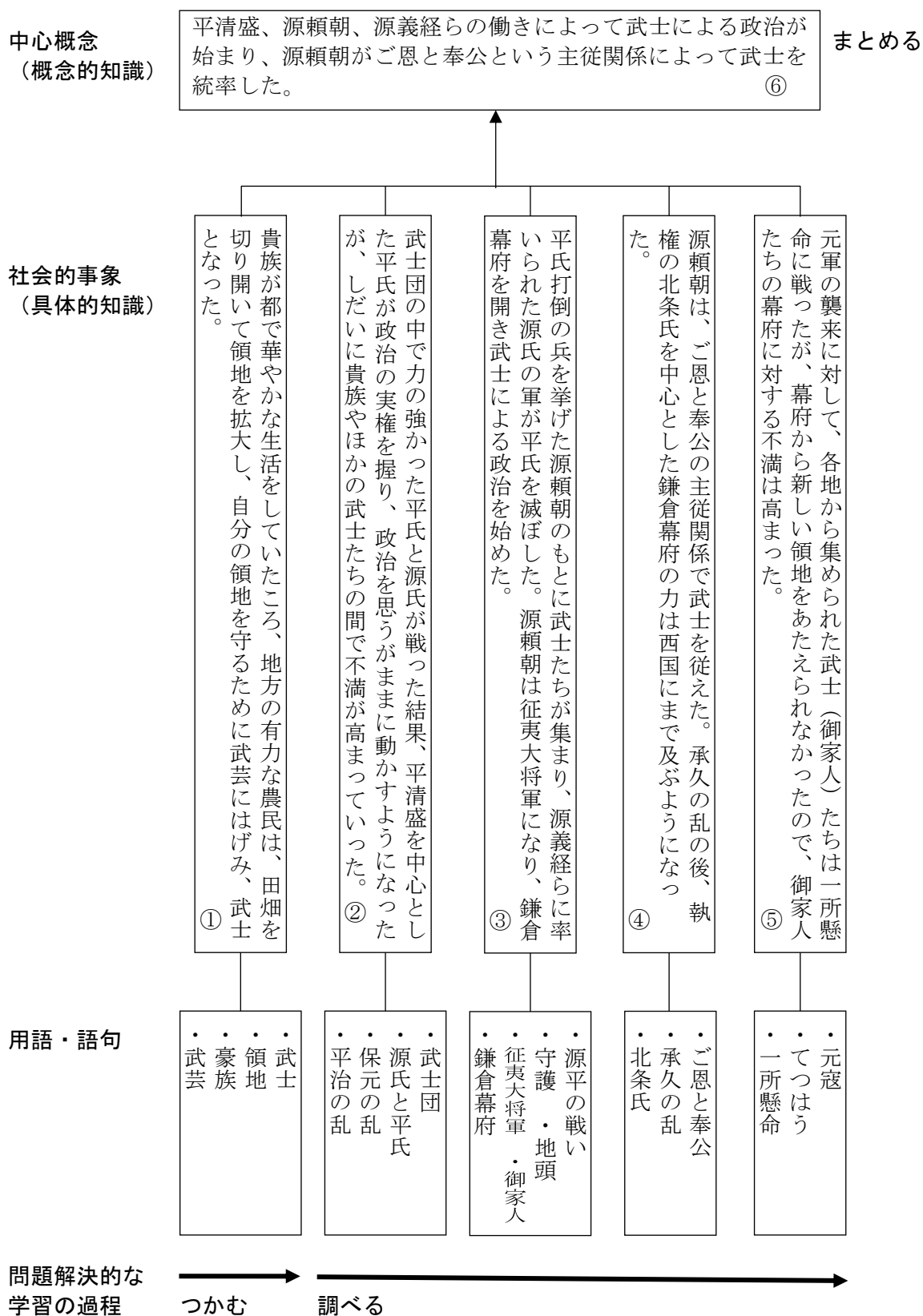
つかむ

調べる

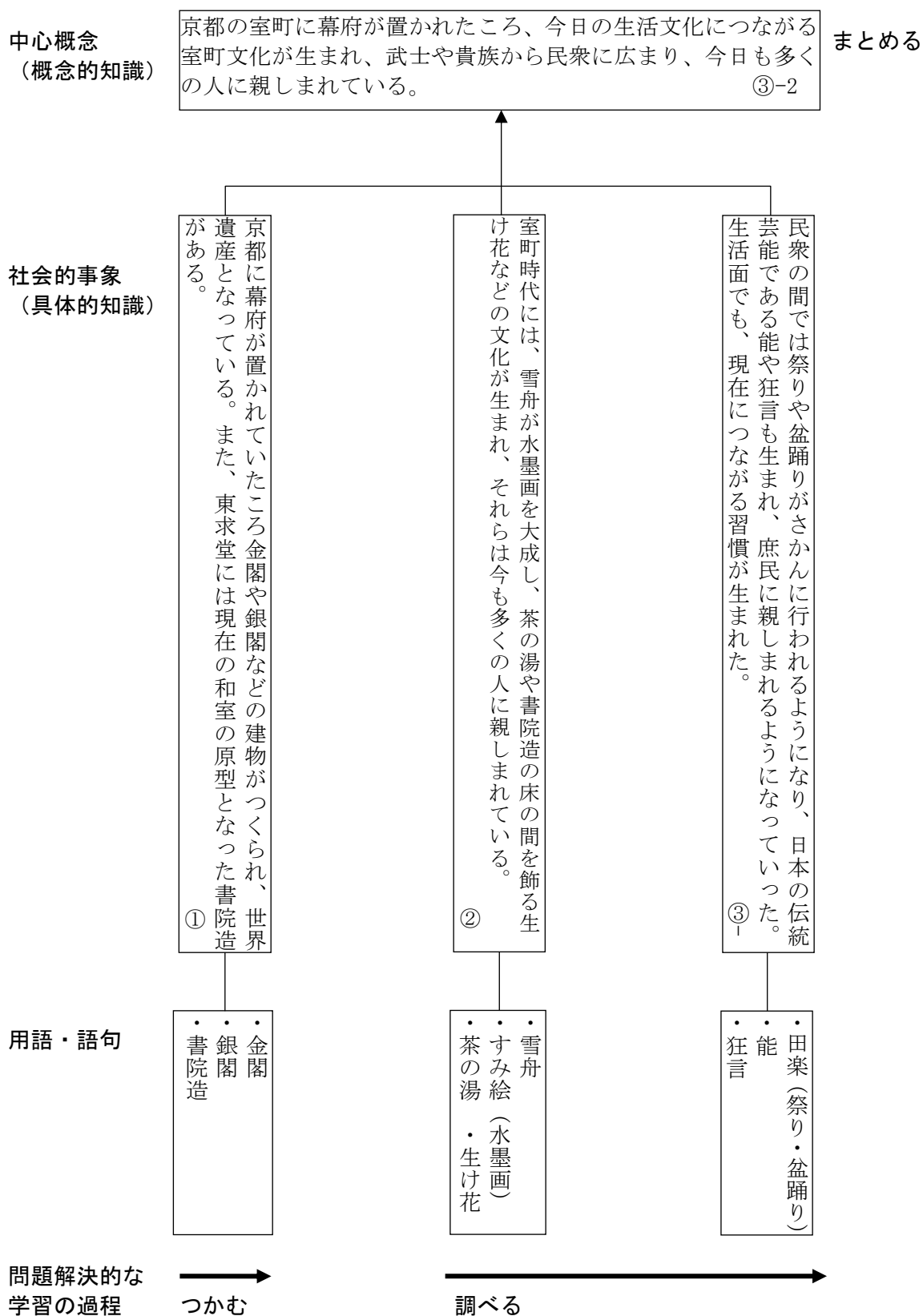
□ 知識の構造図 貴族のくらし



□ 知識の構造図 武士の世の中へ



□ 知識の構造図 今に伝わる室町文化



□ 知識の構造図 戦国の世から天下統一へ

中心概念
(概念的知識)

織田信長と豊臣秀吉は、ヨーロッパとの貿易を進めたり、経済力を高めたり、制度や法を整えたりして力を高め、戦国の世を統一していった。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 室町幕府が衰えると、戦国大名が各地で戦いを続ける戦国の世となり、特に鉄砲を使って長篠の戦いに勝利した織田信長や豊臣秀吉が力を発揮するようになった。

② 一〇〇年以上続いた戦国の世は、織田信長・豊臣秀吉らの働きによって統一されていった。

③ ザビエルによってキリスト教が伝えられたり、南蛮貿易でヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきたりするなど、外国との関わりが日本の宗教や戦い方などに影響を与えた。

④ 織田信長は、商業都市をおさえて資金を蓄え、鉄砲などの武器をそろえて有力な大名を倒して勢力を拡大した。そして、安土城を築いたり商業をさかんにしたりして天下統一を進めていった。

⑤ 豊臣秀吉は、全国の有力な大名を倒して大阪城を築き、検地と刀狩によって武士と百姓・町人の身分を区別し、武士が世の中を支配する仕組みをつくって天下を統一した。

用語・語句

・戦国大名
・長篠の戦い
・鉄砲
・織田信長
・豊臣秀吉

・長篠城
・大阪城
・天下統一

・ザビエル
・キリスト教
・南蛮貿易

・安土城
・楽市・楽座

・検地と刀狩
・百姓

問題解決的な
学習の過程

つかむ

調べる

□ 知識の構造図 江戸幕府と政治の安定

中心概念
(概念的知識)

徳川家康が開いた江戸幕府は、武家諸法度により大名を統制し、参勤交代の制度や外交のあり方を定めて将軍権力を確立し、身分制に基づいて、武士による安定した政治を行うようになった。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 徳川家康は関ヶ原の戦いに勝って全国支配を確かなものにし、征夷大将軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。全国の大名配置を工夫して、のちに豊臣氏を滅ぼし、戦いのない安定した世の中をもたらした。

② 江戸幕府は武家諸法度によって大名を統制し、日光東照宮や江戸城を整備して権力を確立した。

③ 江戸幕府は、参勤交代の制度を定めて全国の大名を交代で江戸の屋敷に住ませ、服属させることで権力を安定させた。

④ 江戸幕府は、全国の人々を武士や百姓、町人などの身分として位置付け、くらしにみあった負担をさせた。

⑤ 江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり、貿易船の出入りを制限することによって、貿易を独占した。

用語・語句

・ 徳川家康
・ 征夷大将軍
・ 江戸幕府

・ 武家諸法度
・ 日光東照宮
・ 江戸城

・ 参勤交代
・ 大名
・ 五街道

・ 身分
・ 城下町と町人
・ 村と百姓

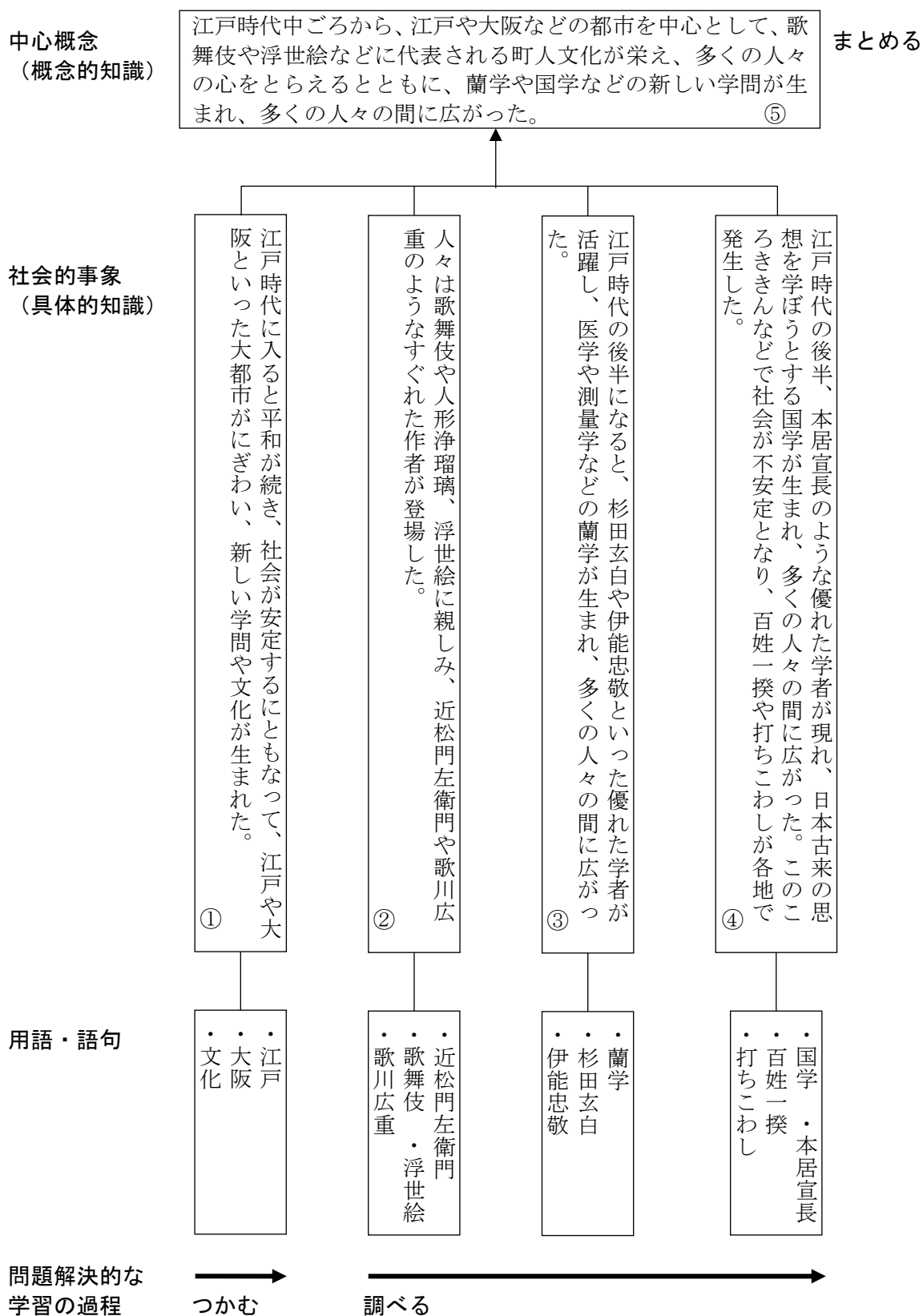
・ キリスト教の禁止
・ 島原・天草一揆
・ 鎖国

問題解決的な
学習の過程

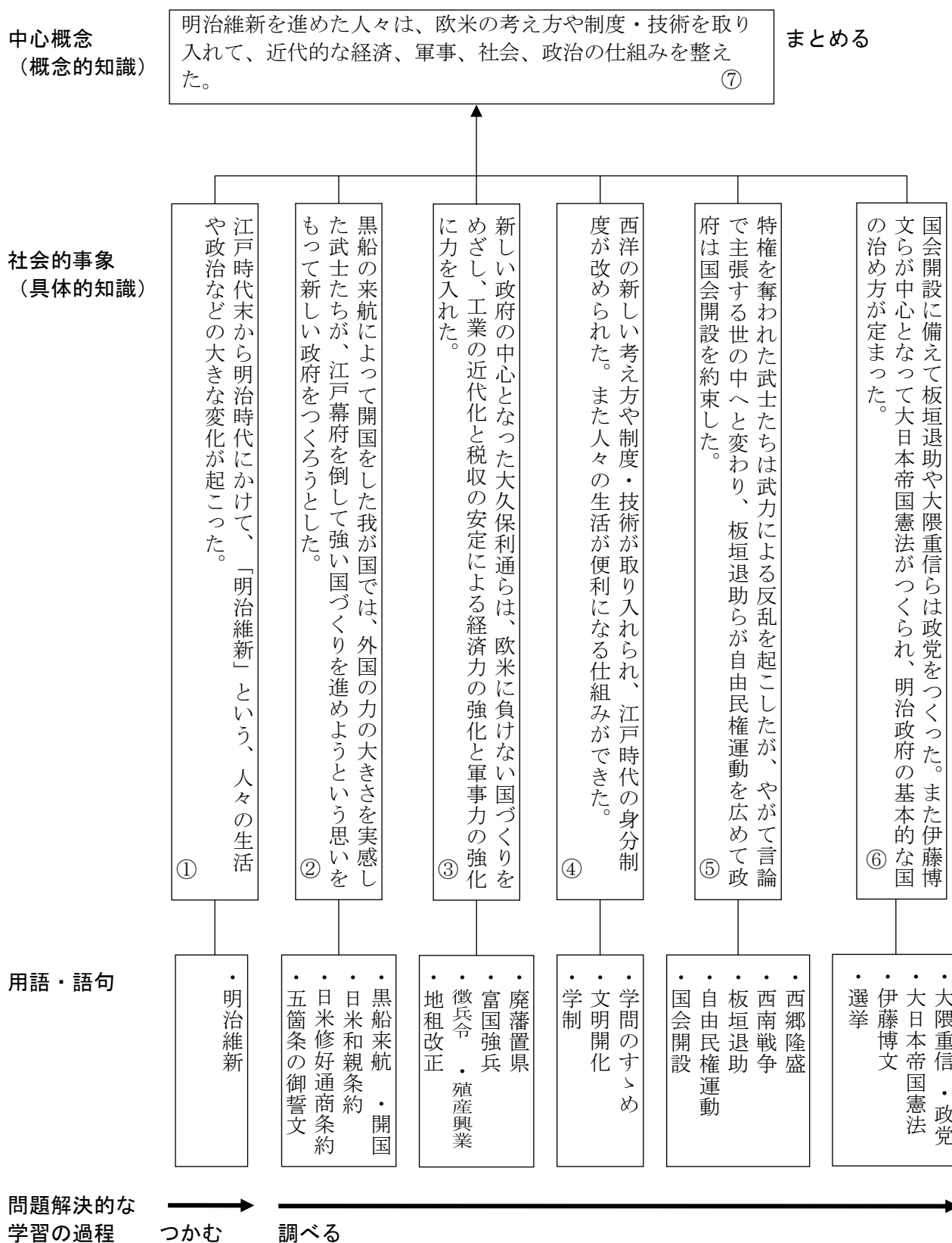
つかむ

調べる

□ 知識の構造図 町人の文化と新しい学問



□ 知識の構造図 明治の国づくりを進めた人々



□ 知識の構造図 世界に歩み出した日本

中心概念
(概念的知識)

我が国の産業や科学・文化の発展と国力の充実にもなって、日清・日露戦争に勝利し、国際的地位が向上したことで、条約改正が達成されたが、他方で、産業の発展は人々の生活や社会に大きな変化をもたらした。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 明治政府は、国の独立を守り、日本の産業を発展させるために、幕末に欧米諸国と結んだ不平等条約の改正をめざして交渉を行った。

② 明治政府の殖産興業政策によって日本の産業が発展していくなかで、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した。

③ 朝鮮半島や満州の支配をめぐる日清戦争・日露戦争が起こった。日本の勝利は欧米諸国に日本の力を認めさせ、アジアの国々を勇気づけることになった。

④ 日本の植民地支配に対し、朝鮮の人々は独立運動を続けた。一九一一年には、小村寿太郎が条約改正に成功し、関税自主権が回復された。また、医学などの研究で世界に認められる学者が現れ、日本の国際的地位の向上に貢献した。

⑤ 産業が発展し都市化が進む一方で、さまざまな社会問題が起きた。また、人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃をめざす運動が起こった。

用語・語句

・条約改正
・関税自主権
・領事裁判権
・ノルマントン号事件
・鹿鳴館

・殖産興業
・製糸業
・欧米諸国
・紡績業

・日清戦争
・賠償金
・満州
・植民地
・日露戦争

・韓国併合
・関税自主権の回復
・科学の発展
・国際的地位の向上
・独立運動

・足尾銅山
・民主主義
・女性の地位向上
・普通選挙
・全国水平社

問題解決的な
学習の過程 つかむ

調べる

□ 知識の構造図 長く続いた戦争と人々の暮らし

中心概念
(概念的知識)

長く続いた戦争は、国民生活に大きな影響を及ぼし、国民や近隣諸国に大きな被害をもたらした。

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

① 長く続いた戦争の終盤、広島に原子爆弾が落とされた。被害を受けた建物は原爆ドームとして世界平和をめざすシンボルとして世界文化遺産に登録された。

② 人々が不景気に苦しむなかで、中国に日本の勢力をのぼすことで景気を回復させようという考え方が広まった。満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し、その後、戦争は中国各地に広がっていった。

③ 戦争が世界に広がる中で、資源を得るために東南アジアに進出した日本は、やがて太平洋戦争に突入し、アメリカやイギリスなどと戦った。初めは勝利したが、だんだんと敗戦を重ねるようになった。

④ 国民を戦争に協力させるために、政府は戦時体制を強め、くらしはすべて戦争のために制限された。

⑤ 各都市の軍需施設や工場だけでなく、住宅地も爆撃され、東京や大阪をはじめ多くの都市が焼け野原になり、多くの命が奪われた。

⑥ 戦争末期、沖縄での激しい戦いで多くの人が亡くなり、広島・長崎には原子爆弾が投下されてたくさんの命が一瞬で奪われた。ついに日本は降伏し、十五年にわたる長い戦争が終わった。

用語・語句

・原子爆弾
・原爆ドーム
・世界文化遺産

・不景気
・満州事変
・国際連盟
・日中戦争

・第二次世界大戦
・軍事同盟
・太平洋戦争
・赤紙

・戦時体制
・配給制
・集団疎開

・空襲
・防空壕
・焼夷弾

・沖縄戦
・原爆投下
・ソ連の参戦
・植民地支配

問題解決的な
学習の過程

つかむ

調べる

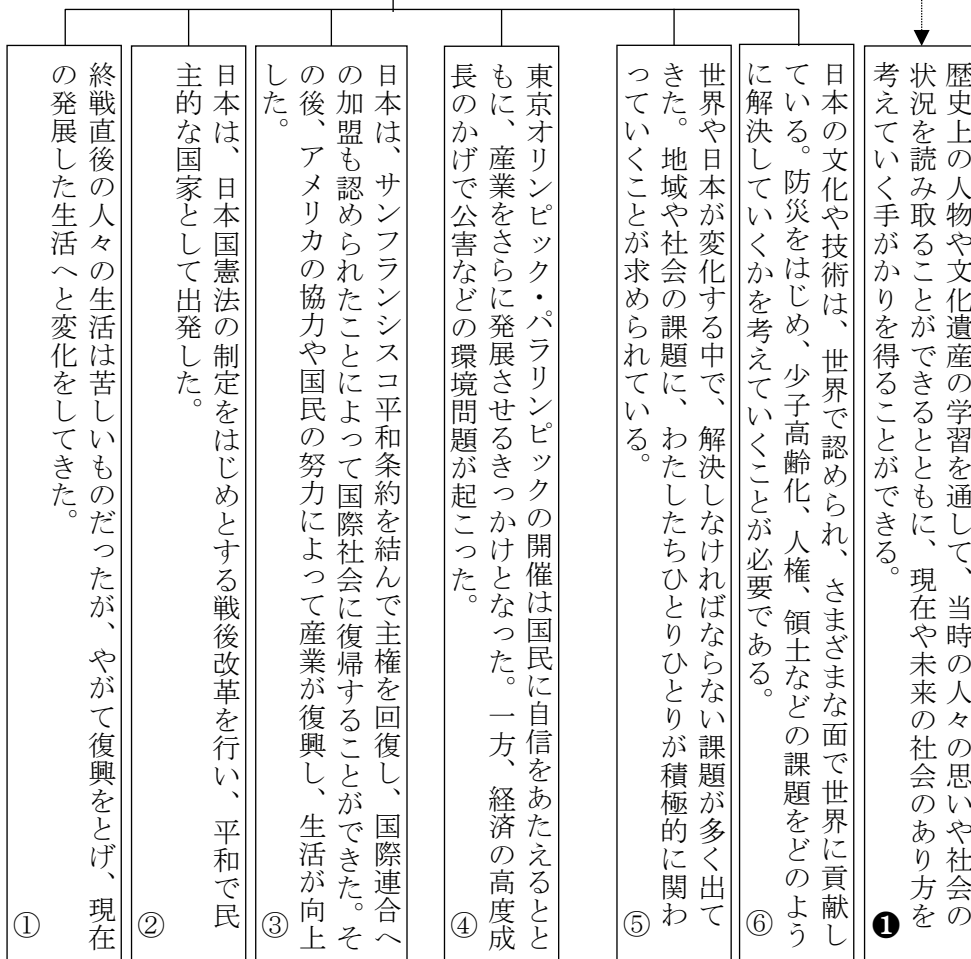
□ 知識の構造図 新しい日本、平和な日本へ

中心概念
(概念的知識)

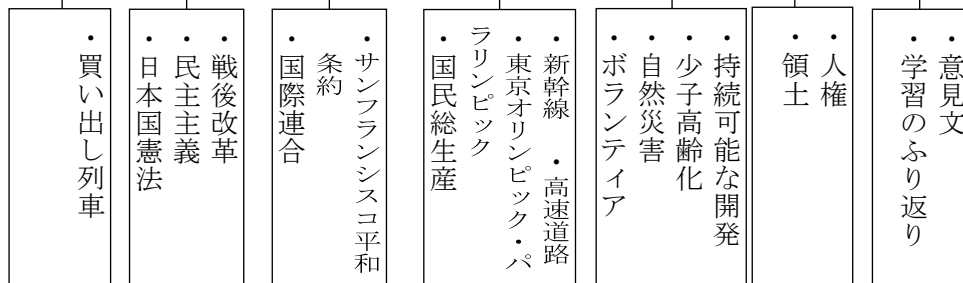
戦後の日本は、さまざまな戦後改革を行って、平和で民主的な国家として出発した。そして、経済・産業の発展によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。しかし世界と日本にはまだ課題もある。 ⑦

まとめる

社会的事象
(具体的知識)



用語・語句



問題解決的な
学習の過程

つかむ 調べる

いかす

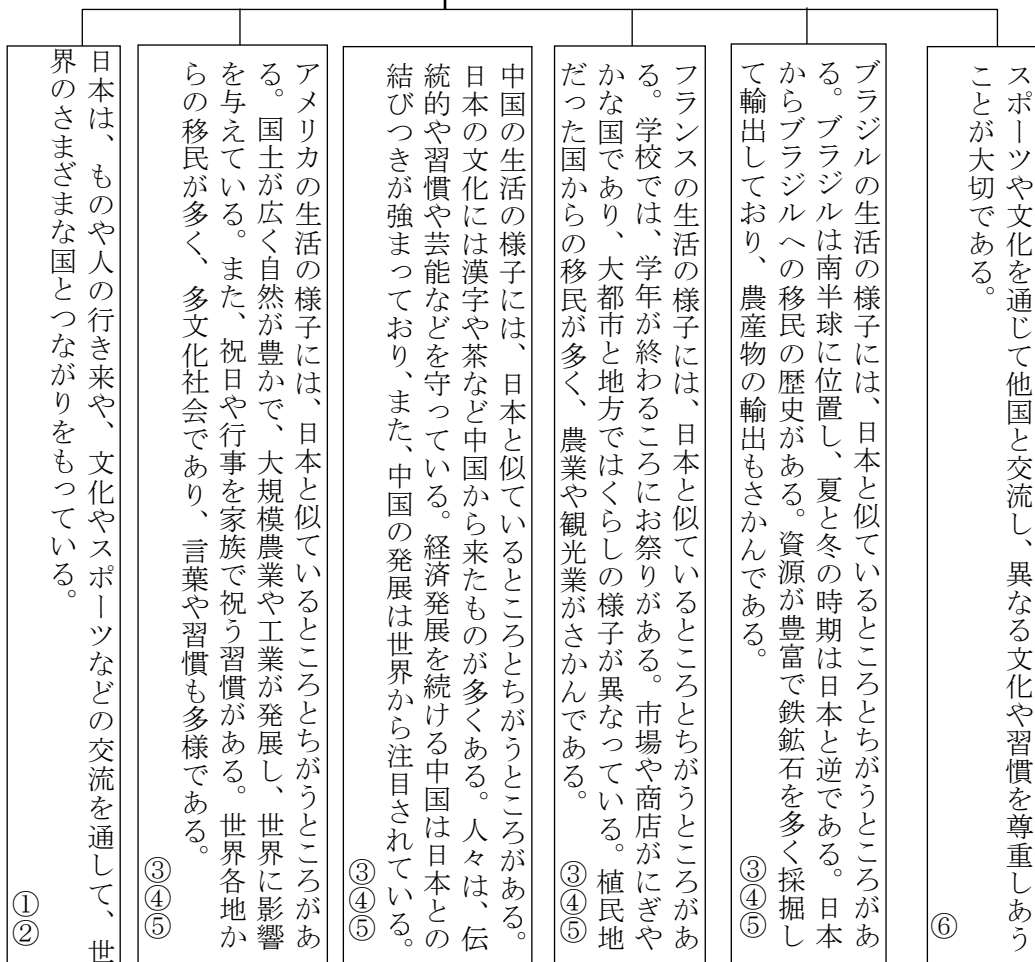
□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々

中心概念
(概念的知識)

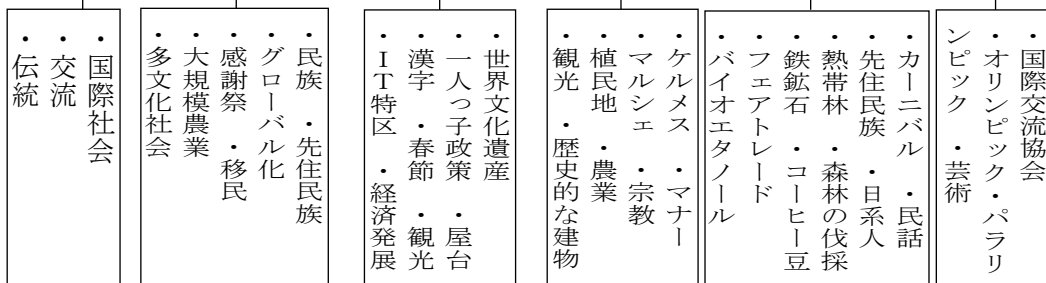
日本と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は多様であり、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切である。 ⑦

まとめる

社会的事象
(具体的知識)



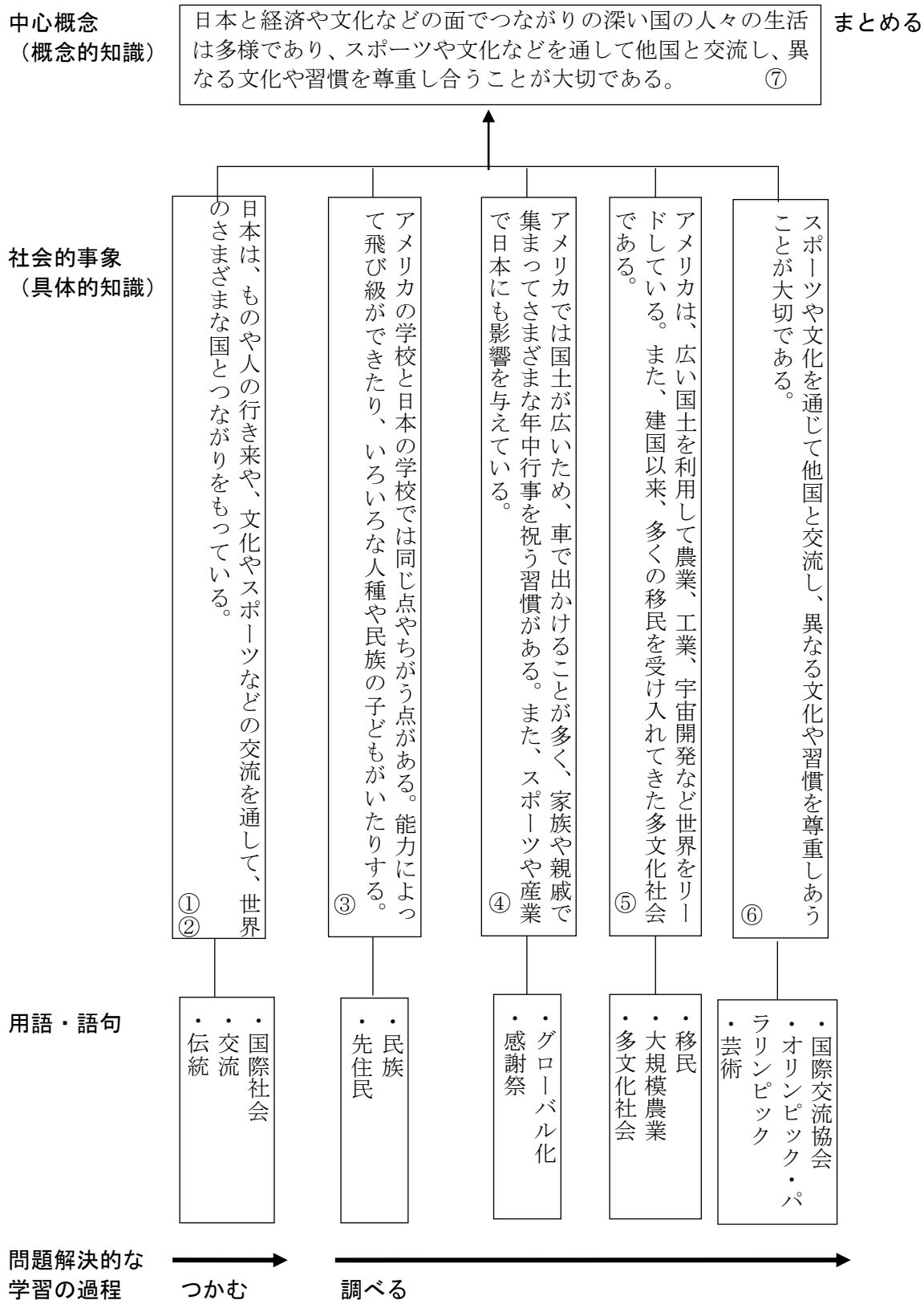
用語・語句



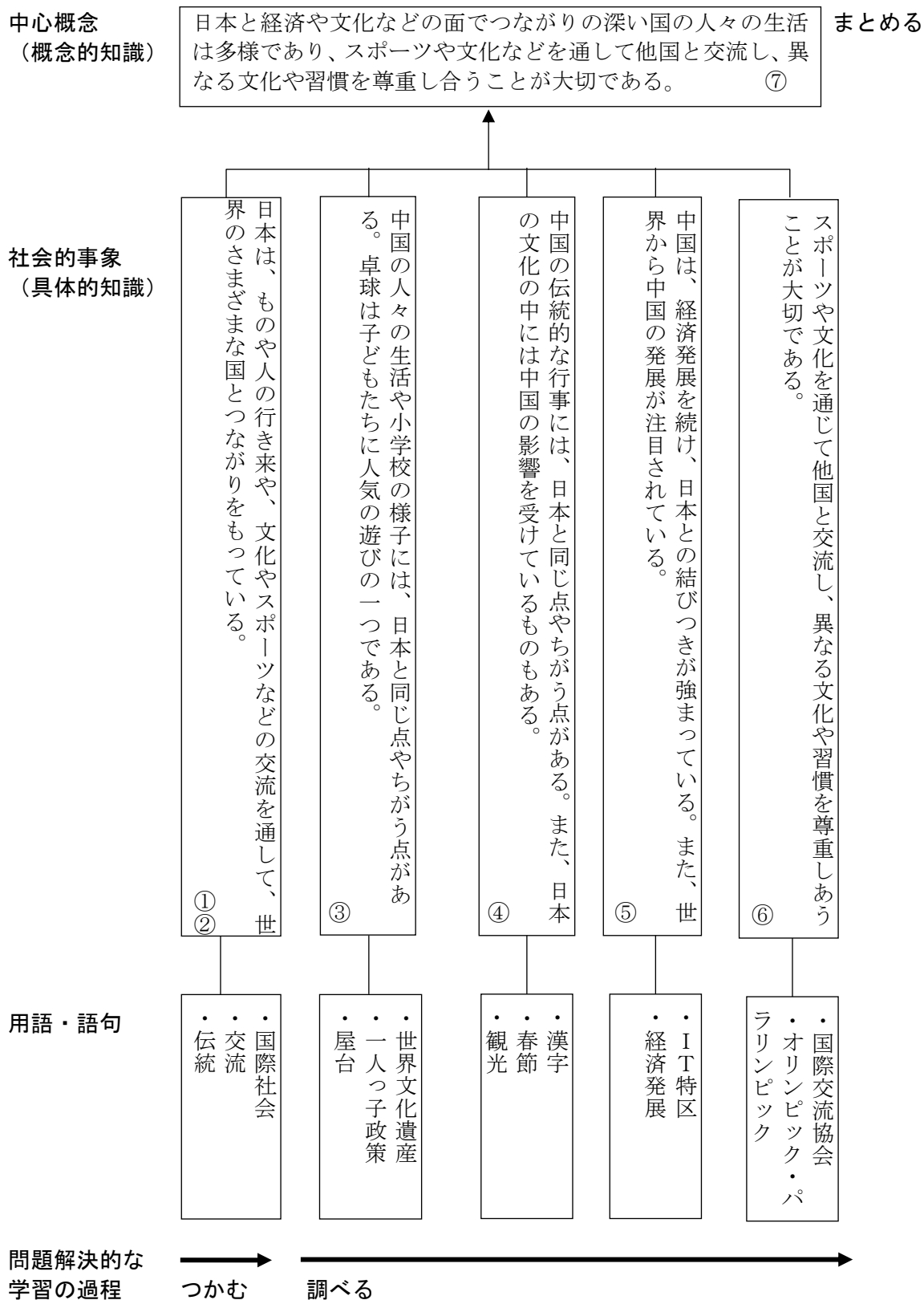
問題解決的な
学習の過程



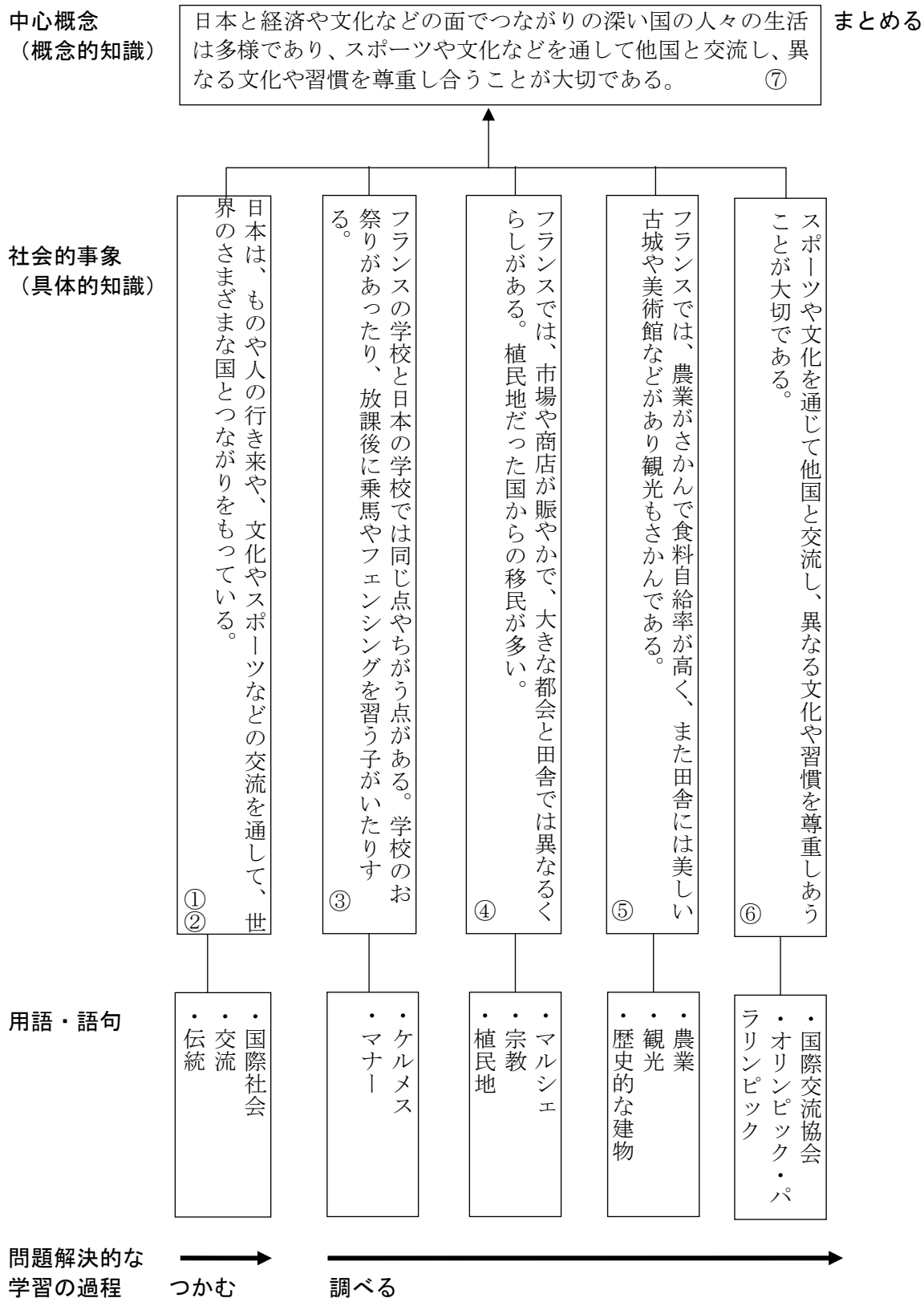
□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（アメリカ）



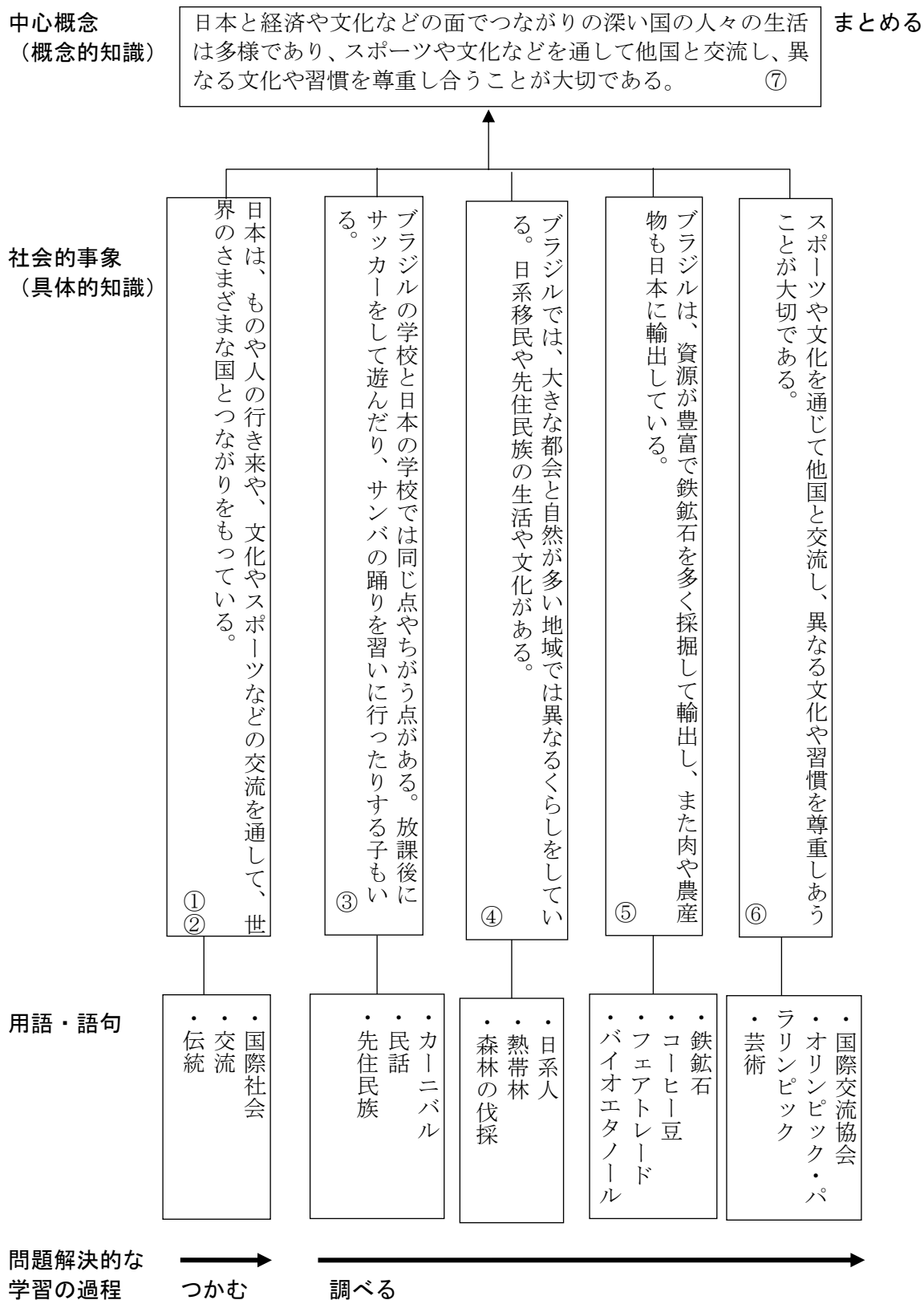
□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（中国）



□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（フランス）



□ 知識の構造図 日本とつながりの深い国々（ブラジル）



□ 知識の構造図 世界の未来と日本の役割

